

自然災害はいつ発生するか分かりません。

教職員や保護者がいない場合も、児童生徒が自分自身で状況を判断し、主体的に安全な行動がとれるよう、以下の点について指導しましょう。

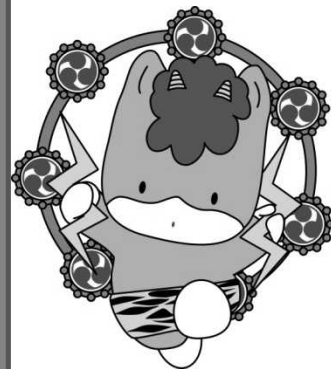
落 雷

【屋外にいるとき】

- 日頃から身の回り（通学途中）の避難場所を考えておく。
- 雷鳴が聞こえたら、すぐに安全な場所（建物の中や自動車の中など）に避難する。
- 木の下・木のそばには避難しない。
- 自転車で乗っていたら、すぐに降りて安全な場所に避難する。
- 避難場所のない時は低い姿勢（両足をそろえてしゃがむ）をとる。

【屋内にいるとき】

- 屋外に出ない（外出しない）。
- 雷の活動は短時間でおさまることが多いので、下校時であっても無理に帰宅せずに待っている。
- すべての電気機器から1m以上はなれる。



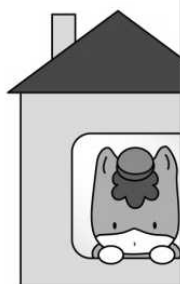
竜巻等突風

【屋外にいるとき】

- 日頃から身の回り（通学途中）の避難場所を考えておく。
- 空の様子に注意し、頑丈な建物にすぐに避難する。
- （頑丈な建物がない場合やたどり着けない場合は）近くの側溝やくぼみでうつ伏せになり、両腕で頭と首を守る。
- 屋根瓦・電柱・樹木など、風によって飛んでくる物に注意する。
- 風で吹き飛ばされる可能性があるため、自動車や車庫・物置・プレハブには避難しない。
- 橋や陸橋、高速道路の高架下には避難しない。

【屋内にいるとき】

- 気象情報や空模様に注意する。
- 窓のそばなどで竜巻を見続けず。
- 窓・雨戸・カーテンを閉めて窓から離れるとともに、布団や毛布などで窓ガラスの破片などから身を守る。
- 2階よりは1階、1階よりは地下に避難する。
- 窓のない（窓の小さい）トイレや風呂場（バスタブ）、押し入れ、階段下の収納などの壁に囲まれた狭い場所に避難する。
- 丈夫な机・テーブルの下に入り、頭から布団をかぶるなどして体（頭と首）を守る。



局所的大雨（ゲリラ豪雨）

【屋外にいるとき】

- 日頃から身の回り（通学途中）の避難場所を考えておく。
- 水辺から離れる。
- ダム放流のサイレンに注意する。
- 地下室・地下街・地下道から地上に出る。
- 道路のマンホールや側溝のふたが外れることがあるので、水が引くまで道路上を歩かない。

【屋内にいるとき】

- 浸水の可能性がある場合は、2階以上の高いところに移動する。



※指導にあたっては、次頁以降に示す【参考資料1, 2】等、気象庁HPを活用して下さい。

積乱雲に伴って、このような災害が発生します！

被害をイメージして
回避しよう！

急な大雨による災害



●親水公園の急激な増水



●地下施設への流入

▲増水と雷に注意が必要
深流・河川敷・中州・親水公園における
釣り・キャンプ・バーベキュー・水遊び など

雷による災害



●落雷

まわりより高い所に落ちやすい！
周囲が開けた場所は危険！

●閃撃雷
木の幹や柱から雷にうたれることも！
木のそばは危険！

▲雷に注意が必要
危険な場所や状況は…
ゴルフ・サッカー・野球などの屋外スポーツ
公園、海・山におけるレジャー など

竜巻による災害



●建物の倒壊



●飛来物の衝突

他にも…
●電柱・樹木の倒壊
●テント等の飛散 など

●屋根瓦が飛散

強い竜巻では列車や自動車
が転覆することもあります。

危険な状況を選べるには…

1 雨が降り始めたり、空や川に異変を感じたら、
すぐに水辺から離れる
●上流に降った雨で、急に増水することがあります。
●サイレンの音は、ダム放流の合図です。
●危険！ X 水かさが増え、濁ったり、枝などが流れてくる時は危険です。

2 浸水した場所に注意
●危険！ X 大雨のときは地下室や地下街は水が流れ込み、危険です。
●浸水した道路では、車溝が見えずマンホールのふたが外れている場合もあり危険です。
●地下を通る道路など低い場所では通行に注意が必要です。



●危険！
車が水につかると、
水圧でドアが開かなくなり危険です。

雷から身を守るには…

1 雷鳴が聞こえたらすぐ避難
●雷鳴が遠くても、雷雲はすぐに近づいてきます。
屋外にいる人は安全な場所に避難しましょう。

2 建物の中や自動車へ避難
●危険！ X 雨宿りで木の下の下に入るのは大変危険です。
●建物や屋根付きの乗り物（自動車など）へ避難しましょう。



●木や電柱から4m以上離れる
●閃撃雷の恐れがあるので、木や電柱から4m以上離れてください。
右の図の三角の範囲内は比較的危険は小さいですが、なるべく早く屋内の安全な場所に避難しましょう。
●近くに避難する場所が無い場合は、姿勢を低くしましょう。

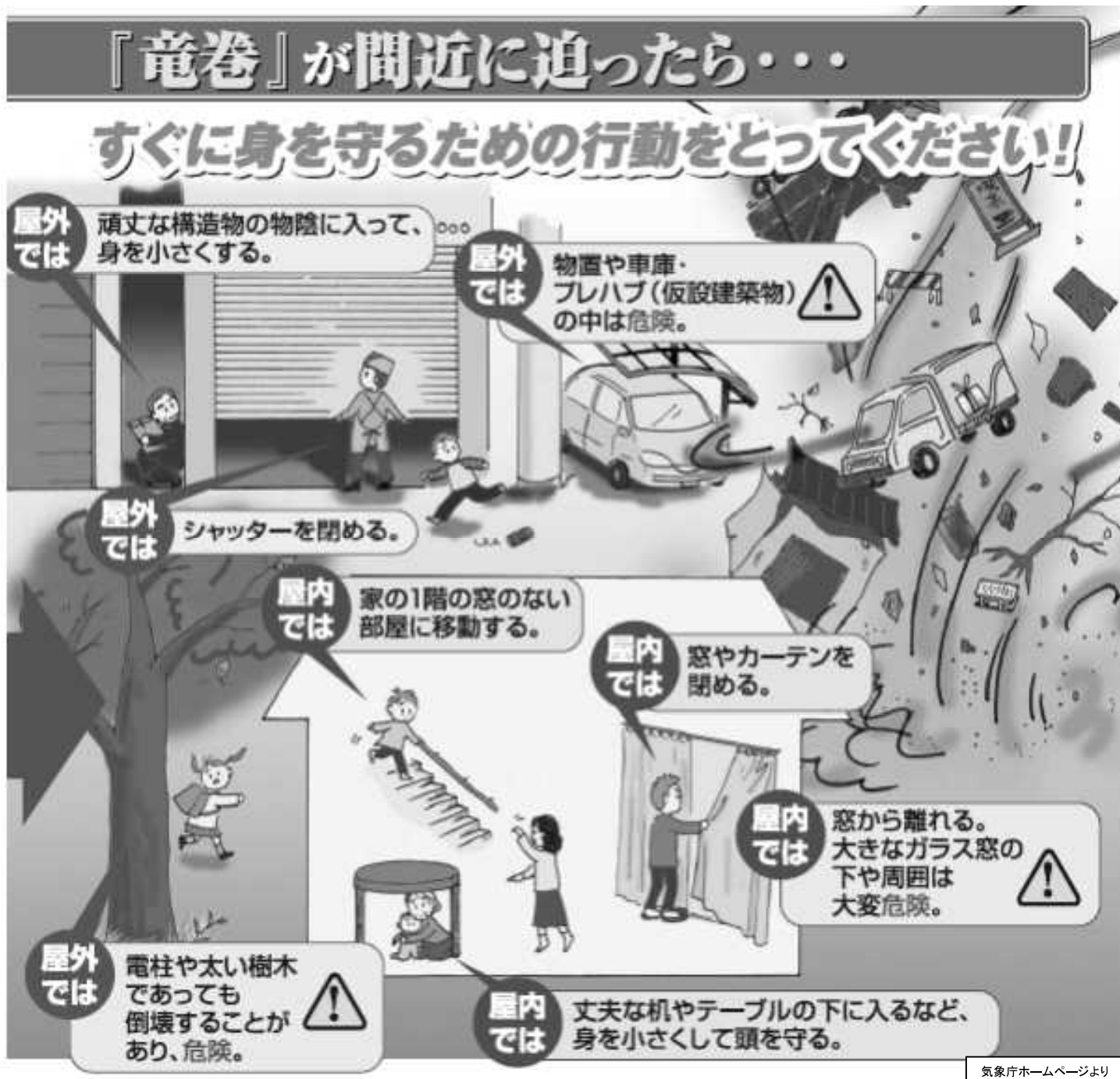
竜巻から身を守るには…

1 頑丈な建物の中へ避難
●避難するときは屋根瓦などの飛来物に注意しましょう。
●避難できない場合は、物陰やくぼみに身をふせましょう。
●危険！ X 車庫・物置・プレハブ（仮設建築物）への避難は危険です。

2 屋内でも窓や壁から離れる
●家の中心部に近い、窓のない部屋に移動しましょう。
●扉、戸を閉め、カーテンを引きましょう。
●頑丈な机の下に入り、頭と首を守りましょう。



●1階の窓の無い部屋へ
●机の下に入り、頭と首を守りましょう。



【その他の参考資料】

気象庁HPから、以下の資料をダウンロードすることができますので御活用下さい。

○保護者・教職員向けリーフレット「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/ooame-kaminari-tatsumaki/index.html>

○防災啓発ビデオ「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/cb_saigai_dvd/index.html